

日光の美しい水環境 を守りましょう

～合併処理浄化槽使用のすすめ～



合併処理浄化槽設置費の補助金制度

市では、合併処理浄化槽を設置される方に補助金を交付しています。交付の条件や対象区域などは次のとおりです。ただし、交付できる予算枠などもありますので、必ず工事着工前に下水道課に確認の上、申請してください。

補助対象

- 建物の新築による浄化槽の新設
- 単独処理浄化槽からの入れ替え
- 汲み取り便所からの改造

交付条件

(次の①～⑤をすべて満たす方)

- ①浄化槽を設置する建物が、次のいずれかに該当すること

- 住宅(延べ床面積の2分の1以上を居住の用に供する建物)

- 自治会などの集会所

- 私立の幼稚園と保育園

- 社会福祉事業を行う施設

- ②浄化槽から出る放流水を、河川などの公共用水域へ流せること

- ※敷地内処理でも、一定の要件を満たすものは該当します。

- ③市内に在住している方、または浄化槽設置後1年以内に転入する予定の方

- ④市税などを完納している方

- ⑤日光市浄化槽設置費補助金交付要

網の規定に該当すること

対象区域

- 公共下水道の事業計画の認可を受けていない区域

※ただし、当該年度内に認可申請が予定されている区域は、補助の対象になりません。

- 事業計画の認可区域ではあるが、文化財保護法による規制のため、下水道の整備が困難な地域

浄化槽の規模と補助金額

- 5人槽(延べ床面積130㎡以下)

- ：332,000円

- 6～7人槽(延べ床面積130㎡超)

- ：414,000円

- 8～50人槽

- (台所および浴室が2か所以上)

- ：548,000円

※申込者が多数の場合、ご希望に添えない場合があります。

申込先

今市地域

：本庁下水道課

日光・足尾地域

：日光総合支所下水道課

藤原・栗山地域

：藤原総合支所下水道課

☎(76)4108

☎(54)1115

☎(21)5150

河川などの水質汚染の最も大きな原因は、家庭から出る生活排水です。水質を保全するためには、この生活排水をいかに処理するかが大きな課題となっています。

そこで、公共下水道とともに期待されているのが合併処理浄化槽です。

合併処理浄化槽とは？

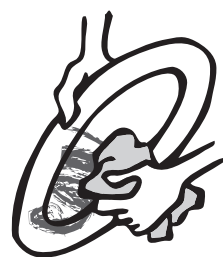
合併処理浄化槽は、し尿だけしか処理できない単独処理浄化槽と違い、台所や風呂などの生活排水も一緒に処理・浄化できる設備です。微生物の力で生活排水を浄化し、河川などへ放流します。

なぜ合併処理浄化槽なの？

単独処理浄化槽はし尿だけを処理するため、生活排水に含まれる汚濁物質の約20%しか除去できません。台所や風呂などからの排水は処理されずに流されるため、河川などの水質悪化を招いてしまいます。

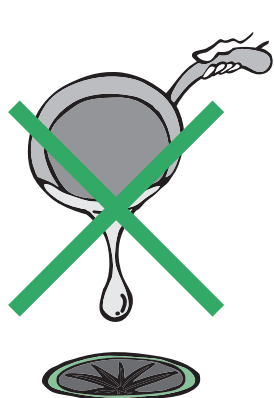
一方、合併処理浄化槽の場合、し尿だけでなく台所や風呂などからの排水も合わせて浄化・処理します。

てから洗いましょう。



※使用後の油を流さない

油は、汚濁の原因として大変大きなものです。そのまま流してしまうと、浄化能力が低下するだけでなく、排水管が詰まり悪臭の原因にもなります。固化剤で固めたり、古新聞や布などにしみ込ませたりして、燃えるごみとして出しましょう。



※調理くずなどを流さない

三角コーナーなどを備えて、調理くずや食べ残しなどを流さないようにしましょう。調理くずや食べ残しなどは、生ごみとして出すか、埋めて土に戻しましょう。

※市では、家庭用の生ごみ処理機器を設置される方へも補助金を交付しています。詳しくは23ページに掲載しています。

生活排水に含まれる汚濁物質の約90%を除去できるというわれ、下水処理場とほぼ同等の処理能力を持っています。合併処理浄化槽を正しく管理すれば、生活排水をきれいに処理し、河川などの水質汚染を防ぐことができます。

さらに、合併処理浄化槽は設置のための工期が約1週間と短く、駐車場1台分の面積があれば設置できます。このため、人口密度の低い地域では公共下水道よりも設置費が安く済みます。

水環境の保護のため、すでに単独処理浄化槽を設置している方も、合併処理浄化槽への入れ替えをお願いします。

浄化槽使用時のお願い ～家庭で実践できること～

浄化槽を正しく管理すれば、生活排水をきれいに処理し、河川などの水質汚染を防ぐことができます。逆に、正しく利用しないと浄化槽は能力を発揮できません。

浄化槽を利用する際は次の点にご注意ください。

※なるべく水を汚さない

水の汚れが少なければ、浄化槽の処理負担も少なくなります。食事後の食器の汚れは、紙などでふき取っ

浄化槽の維持管理は適切に

管理の行き届かない浄化槽は処理水質が悪く、悪臭の原因になります。浄化槽法により、浄化槽の保守点検や清掃、法定検査を定期的に行うことが義務付けられています。年に一回以上は浄化槽の清掃をしましょう。浄化槽の清掃は、市長の許可を受けた業者が行うことになっていますので、指定地域の業者に直接お申し込みください。また、清掃点検を行った場合は、業者から記録票を受け取り、3年間保管してください。

浄化槽清掃業者一覧

業者名	電話番号	指定地域
(株)衛生管理センター	32-1060	今市、日光、足尾、栗山
(株)近代環境整備社	26-3962	今市、栗山
(有)クリーン・アップ	76-2868	今市、栗山
宇都宮文化センター(株)日光支店	53-3723	日光、足尾
(株)環境テック	93-2845	足尾
(株)栃浄鬼怒川出張所	76-8141	藤原、栗山
(有)ときわ	76-0234	藤原

市では今後も、日光の水環境の保全に努めていきます。

くわしくは 下水道課下水道管理係

☎(21)5150